

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成22年11月19日(金) 5校時
児 童 5年1組 男16名 女17名 計33名
指導者 豊川 浩子

研究課題

多様な読み方のよさや楽しさを実感し、学び続ける子どもを育てる授業

研究課題について(設定理由)

本学級の児童は、本来読書好きな子どもが多い。しかし、今までの授業を振り返ってみると、パターン化された画一的な授業、また、内容を読み取るだけで読み方の指導を置き去りにした授業が、国語の学習への意欲を削いでしまっていたのではないかと反省する。

そこで、子どもたちが目的をもって多様な読み方を学び、その後の言語活動に生かす学習を通して、どの子どもも学びへの意欲を高め、多くの本や文章などを読むことのよさや楽しさを実感することができるようにしたいと考え、本研究課題を設定した。

1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう

教材名 「わらぐつの中の神様」(杉みき子)(光村図書 5年下) 他

2 単元について

(1) 児童観

これまでに児童は、「読むこと」の学習として、「新しい友達」では、登場人物の言葉や行動などから心情の変化を読み取る言語活動を行った。このことにより、心情の直接的な表現だけでなく間接的な表現にも着目し、叙述に即して心情を読み取ることができるようになってきている。また、「千年の釘にいどむ」では、人物の言葉や行動から生き方や考え方を読み取り、紹介文を書く言語活動を行った。このことにより、心動かされる人物の言葉や行動を選び、その叙述を根拠にして価値ある生き方や考え方をとらえることができるようになってきている。

読書については、週に3回の読書タイムに集中して取り組むなど、本好きな児童が多く見られる。また、発展読書として紹介された本も進んで手に取るなど、読書の幅を広げることに意欲的な児童も多い。国語の授業では、登場人物の心情について想像したり、考えを交流したりすることに進んで取り組む姿が見られる反面、苦手意識をもち、進んで取り組むことが難しい子どもも少なくない。

これまでに学んだことを生かしながら、さらに多様な読み方を学び、事後の学習に生かすことを通して、そのよさや楽しさを実感する授業を行い、どの子どもも学びへの意欲を高めることができるようにしていきたいと考える。

(2) 教材観

本単元で育てたい主となる能力は、新学習指導要領第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の内容にある「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」である。

本教材「わらぐつの中の神様」は、おみつさんの人柄や若い大工さんのものの見方・考え方から、おばあちゃんの伝えたかった神様の意味をマサエが受け止めていくことを通して、見かけではなく、人の身になって尽くす心を大切に生きていくことの尊さや幸せを伝えている物語である。また、そこには、おばあちゃんとマサエ、おみつさんと大工さんとの心の通い合いが描かれている。子どもたちは、それらの心の通い合いに共感しながら読み進め、その背景にある登場人物の考え方や生き方に触れることにより、自分を見つめ直し、自分の生き方について考えをもつことができると考える。さらに、「現在－過去－現在」という昔語りを前後で包み込んだ巧みな構成や謎解きの構造、わらぐつの描写による「ものを描いて人を描く」という表現の技法などから、優れた叙述を味わいながら読むことができると思われる。

(3) 指導観

第一次では、「作品パンフレットを書く」という単元のゴールや学習の進め方などについて確認し、学習の見通しをもつとともに学習意欲を高めることができるようにする。その際、補助教材「殿さまのちゃわん（小川未明）」を紹介し、第三次で、「わらぐつの中の神様」と比べて読みながら、作品のテーマについて考えを深めることを確認する。また、作者・杉みき子の他の作品を紹介し、並行読書に取り組むことで、同一作者の作品に共通する特色やテーマを味わうことができるようにする。

第二次では、文章全体を場面で区切らず、登場人物の変容やその要因となった人物の考え方や生き方など、観点に沿って読み取ることで、短時間で作品全体を読み取る力や、他の作品の読みにも生かすことができる読み方を身に付けることができるようにする。その際、おばあちゃんとマサエのもののおみつさんとおみつさんと大工さんの人柄や考え方、わらぐつの描写などを対比・類比しながら人物の考え方や生き方を読み取り、自分の考えをもつことができるようにする。

第三次では、補助教材「殿さまのちゃわん」と「わらぐつの中の神様」を比べて読むことで、作品の特色やテーマをとらえ、優れた叙述に気付いていくことができるようにするとともに、自分の考えを深めることができるようにする。

3 学習指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- 文章の内容や表現に関心を持ち、進んで叙述と関係付けながら読み取ったり、自分の考えをもったりしようとする。

(2) 読む能力

- 他の作品と比べて読み、作品の特色やテーマについて考えることができる。 (読 イ)
- ◎ 登場人物の人柄や考え方、相互関係を叙述と関係付けながら読み取り、優れた叙述や作品のテーマについて自分の考えをまとめることができる。 (読 エ)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 比喩などの表現の工夫に気付くことができる。 (言イ【ケ】)

4 指導計画

(「読むこと」8時間)

次	時	学 習 内 容
一	1	・教材文を読み、学習の見通しをもつこと。
	2	・「作品パンフレット」の書き方やあらすじを確認し、学習計画を立てること。 ・新出漢字や言葉の学習をすること。
二	3	・人物設定を押さえ、マサエの変容をとらえること。
	4	・マサエの変容の要因となった「おみつさん」と「若い大工さん」の人柄や考え方、生き方を読み取ること。
	5	・作品のテーマをまとめること。
三	6	・補助教材「殿さまのちゃわん」と「わらぐつの中の神様」とを比べて読み、共通点や相違点をとらえること。
	7 本時	・補助教材「殿さまのちゃわん」と「わらぐつの中の神様」とを比べて読み、共通する作品のテーマについて自分の考えをまとめること。
	8	・「わらぐつの中の神様」の「作品パンフレット」を完成させ、交流すること。

5 本時の指導（7／8時間）

(1) 目標

- ・ 2つの作品を比べて読むことを通して共通する作品のテーマをとらえ、自分の考えをまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点（◇評価）
導入	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>「殿さまのちゃわん」にも神様はいるだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時では、補助教材「殿さまのちゃわん」と「わらぐつの中の神様」とを比べて読み、共通点や相違点をとらえたことを想起することにより本時の学習への意欲を高めるようにする。 ・本時では、課題についてグループで話し合うことにより、「わらぐつの中の神様」の作品のテーマについてさらに考えを広げたり深めたりし、それに対する自分の考えをまとめることを確認する。
5分	<p>3 課題解決の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「殿さまのちゃわん」と「わらぐつの中の神様」に共通する、「もの」に表現されている人物の考え方や生き方に着目することを確認する。
展開	<p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 補助教材を基にグループで話し合う。</p> <p>(2) グループで話し合ったことを交流し、作品のテーマについて話し合う。</p> <p>(3) 作品のテーマとそれに対する自分の考えをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について、叙述を基にグループで話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・殿様の茶碗の中にも神様がいるとしたら、①どちらの茶碗に神様がいるか、②その神様とはどんなものか、について考えることにより、2つの作品に共通するテーマを読み取ることができるようにする。 ・中心教材と補助教材のテーマを比べて考えることで、「わらぐつの中の神様」の「心をこめて、作る人の身になって作ることの大切さ・価値」と「殿さまのちゃわん」の「親切な心がけ」という点が共通していることに気付き、作品のテーマについて深く考えることができるようにする。 ・まとめ方を提示して書かせることで、条件に合わせて書く力を高めていくことができるようにする。 ◇2つの作品を比べて読むことを通して共通する作品のテーマをとらえ、自分の考えをまとめることができる。（ノート・発言）
35分	<p>(4) 書きまとめたことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との共通点や相違点に気を付けて聞くようにすることで、友達のまとめ方や考えのよさに気付くことができるようにする。
終末 5分	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 次時の学習について見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の関心・意欲・態度や課題について振り返り、満足感や成就感をもつことができるようにする。 ・次時は、「わらぐつの中の神様」の「作品パンフレット」を完成させることを確認し、次時の学習の見通しをもつことができるようにする。